

令和5年度輪之内町長選挙 立候補者アンケート

木野 隆之 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOやボランティアなどの住民団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、輪之内町のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい ・ いいえ ・ その他

現代社会において、行政と住民の考えた方に齟齬が生じることはままあり、意見調整が不可欠です。NPO がその仲介役として機能することにより、現実には即した具体の解決策につながれば関係者にとって喜ばしいことです。又、行政側として課題把握しても制度上の制約等で一步を踏み出せないことがあります。そんな時に NPO がその特質を生かして行動することにより、住民ニーズを現実的に実現できると考えます。

複雑多様化する社会構造下において、住民の意識・行動を的確に吸収し活動する NPO には、法人の目的実現とともに、社会の中で今まで以上に存在感を増大させ、より良い協働体制の実現に、その実力を発揮していただきたいと期待しています。

2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

輪之内町では、「輪之内町第六次総合計画 基本目標6 豊かさにつながるのあるまちづくり 6-1 自治会・コミュニティ・地域協働」に、地域づくりの新たな担い手としてNPOの参加を図ることが書かれています。NPO等の活動をより推進していくために、活動費の補助や人材育成、その他に活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合はお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

豊かさにつながるのあるまちづくりには、地域づくりの担い手として NPO の参画が必須です。地域の絆を大切に育む NPO の活動に何らかの助成策は必要です。助成はあくまで NPO 活動を側面支援すべきものであり、行政の別動隊とみなされないよう配慮すべきです。現在、輪之内町では幾つかの環境・資源保全団体が活動を展開しており継続が望まれます。

今後は、スポーツ・文化活動等の地域移行を実施予定ですが、人材の育成、ポテンシャルを有する人材の発掘が必要です。その活動主体として NPO が想定されることから、当該活動に助成することにより、真に住民参加型の協働社会を早期に実現すべく考えをめぐらせております。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「輪之内町まちづくり基本条例」ではまちづくりに協働して取り組むための仕組みと方針を定め、協働のまちづくりに取り組んでいます。今後も輪之内町のまちづくりのために、輪之内町とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

・

いいえ

・

その他

輪之内町まちづくり基本条例の制定経緯からすれば、NPO との協働関係の構築は当初から想定されているものであり、積極的な関係構築は急務だと考えています。

自発的な活動主体の参加は大歓迎であり、意見交換しつつ施策展開していくことが、住民の具体のニーズに寄り添うものであると考えております。

行政主導型の NPO は行政の意を汲む別動隊との印象を拭えませんので、あくまで行政と対等な当事者としての立ち位置が必要です。

あくまで、NPO としての主体性を確保しながら行政側と協働し、具体的な活動を展開することで最終目的である住民福祉の向上に結びつくように取り組むことが大切だと考えています。

ご協力ありがとうございました。